

05 「当たり前の現実？」（作文（中学生））

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、最もがが第43回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会で入賞した中学3年生の作文を一部省略して朗読します。題名は「当たり前の現実？」です。

ある日、テレビでこんなコマーシャルが目に留まりました。
赤ちゃんの泣き声とともに「はいはうい今行くね」という言葉が映され、最後は「聞こえてきたのは、男性の声ですか？女性の声ですか？」無意識の偏見に気づくことから、「はじめませんか」と締めくられました。

私は、無意識に女の人だと思つてしまい、先入観を持つて世界を見てしまつているのだと、とても考えさせられました。

それから一年ほど経ち、大好きだった祖父が亡くなりました。お葬式の後、親族で食事をしました。私たち兄妹は、喪主である祖母が一番お仏壇に近い上座に座ると考えていました。しかし、母や祖母、伯母たちが食事やお酒の用意をしていました。お間違ひで、男の人たちはどんどん上座へいき、結局、祖母は一番お仏壇から遠い下座に座っていました。姉と「なんで、ばあちゃんが下座におるん？」と話していると、親戚のおばさんが「おばあちゃんも男の人がいっぱいいる上座より、居心地がいいでしょう？」それに、出入り口に近い方がお

料理を運びやすいからね。」と教えてくれました。

25 私は福岡に帰つてきてからも、その食事のときの光景が頭から離れませんでした。

なぜ、女の人が料理やお酒を運ぶ前提なんだろう。

なぜ、喪主が下座にいるのに、誰も不思議に思わないんだろう。

30

あのコマーシャルを見たときには、「考え方せられるなあ」としか思わなかつたのに、自分の問題になつて、いかに何も考えずに生きてきたか気付かされました。

男性の育児休業を取りやすくしたり女性を管理職へ起用

したりするなど、社会で男女平等の取り組みは広がつています。けれど、「男は仕事、女は家事」という考え方の人や、その現状を当たり前とのみこむ人がいることも事実です。そういう現実が当たり前にならないよう疑問を持ち続けたいと思うようになりました。このきっかけを忘れないようにしておもいます。

40

(ナレーター) いかがでしたか。性別による役割分担に疑問を持った作者。当たり前という考え方を見直すことが大切だと気付かされる作文でしたね。

45

(本文 944字)